

平成30年度
(2018年度)

香川大学大学院農学研究科（修士課程）

学生募集要項

[特別選抜（自己推薦方式）]

平成29年4月

香川大学大学院農学研究科

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393
電話 (087) 891-3015

アドミッションポリシー（要約）

（詳細は、<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/入試情報/香川大学農学研究科アドミッションポリシー/>）

本研究科では、生物がもつ多様な機能を探究し、応用生物学領域の学術的展開を図るとともに、有用資源の創成や活用に関する応用技術の開発に向けた先端的かつ総合的な教育・研究を行います。生物資源の生産と利用に関する高度な専門知識と技能、課題探求と解決能力、及び実践的能力を備えた人材育成と、国際水準の学術的研究を通じて広く社会への貢献を目指します。

生物資源生産学専攻

本専攻には食料の安定供給のため、生物資源の生産性向上と生産環境の適正化を図る食料生産学領域、園芸資源の高度利用と生産や流通貯蔵技術の開発を行う園芸科学領域、生態系の構造と機能を解明し、その保全・修復を図る環境生態機能学領域があります。本専攻では、人類生存の要である生物資源の開発と生産及び資源の持続的活用の基盤である環境の創造・保全に強い関心を持ち、これらの領域に関する高度な専門知識と技術を積極的に修得して、地域あるいは国際的な視点から、食料や環境に関する基礎及び応用的課題を探究し解決したいと考える実践力豊かな学生を求めます。

生物資源利用学専攻

本専攻には生物資源の機能物質の探索、生合成のしくみを明らかにする生物分子化学領域、植物の持つ機能を分子、遺伝子のレベルで解明する植物科学領域、分子、細胞、個体レベルでの微生物と動物の機能や生命現象を明らかにする生命機能科学領域、食品の生体調節・健康増進機能に関する諸研究と食品開発を目指す食品科学領域があります。本専攻では、微生物や動植物のもつ多様性と機能性を分子レベルで科学的に解析することに興味があり、その得られた高度な専門知識と技術を豊かな生活を持続するために不可欠な「バイオサイエンス」分野や「健康」と「食品」に関連する諸課題の解決に積極的に役立てたいと考える学生を求めます。

希少糖科学専攻

本専攻には生物の糖質生産機構の解明と希少糖の大量生産システムの開発を図る生産学領域、糖質の人間及び動植物に対する生体調節機能の解析を図る機能解析学領域、医薬品、化粧品、食品動植物生理活性剤の開発を図る利用学領域があります。本専攻では、生物生産及び生物資源の開発と利用に関心を持ち、糖質バイオサイエンスを中心とした高度な専門知識を積極的に修得するとともに、新しいバイオ素材の開発を目的とする希少糖バイオテクノロジーの分野で、医学部、地域研究機関、民間会社と連携して世界レベルの基礎研究、応用開発を行いたいと考える学生を求めます。

平成30年度入試概要

選抜方法		特 別 選 抜 ²⁾ (自己推薦方式)	一般選抜・社会人特別選抜		外国人留学生 特別選抜
			前 期	後 期	
1) 募集人員等	生物資源生産学専攻 (合計25人)	12	13	若干人	若干人
	生物資源利用学専攻 (合計25人)	12	13	若干人	若干人
	希少糖科学専攻 (合計10人)	5	5	若干人	若干人
日 程 等	出 願 期 間	平成29年 6月12日(月)～ 6月22日(木)	平成29年 7月20日(木)～ 7月27日(木)	平成29年12月6日(水)～12月13日(水)	
	試 験 日	平成29年 7月6日(木)	平成29年 8月23日(水)・ 24日(木)	平成30年1月18日(木)	
	試 験 種 目	口 頭 試 問 ³⁾	筆 記 試 験 (英語・専門) ⁴⁾ 口 頭 試 問 ³⁾	プレゼンテーション ⁵⁾ と口頭試問 ³⁾	
	合 格 者 発 表	平成29年 7月14日(金)	平成29年 9月15日(金)	平成30年2月9日(金)	

- 注 1) いずれの選抜方法でも、募集人員以上の合格者を出すことがあります。外国人留学生については、平成29年12月頃に募集する外国人留学生特別選抜でも受験できます。社会人については、一般選抜前期・後期と同日に実施される社会人特別選抜でも受験できます。
- 2) 特別選抜（自己推薦方式）の受験資格について
 大学在学中のものは、平成29年3月31日時点で卒業要件単位のうち100単位以上取得しており、かつ優以上が60単位以上であること（学校教育法第89条（いわゆる早期卒業）の規定によるものはこの条件を満たさなくても出願資格がある）。編入学生については、3年次に取得した単位の6割以上が優以上であること。既卒者は、修得単位のうち6割以上が優以上であること。
- 3) 口頭試問では、提出書類を参考にしながら、志望動機、修学に必要な知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを審査します。
- 4) 筆記試験の専門は、志望教員の専門分野から出題されます。なお、社会人特別選抜の英語試験はありません。
- 5) 卒業研究の内容と進学後の研究計画を口頭発表してください。ただし、飛び入学希望者や卒業研究を履修していない学生等については、志望理由と進学後の研究計画を口頭発表してください。なお、口頭発表にはパソコンとプロジェクターを使用することができます。パソコンは各自持参してください。

目 次

I. 平成30年度香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項 [特別選抜（自己推薦方式）]	
1. 特別選抜（自己推薦方式）の趣旨	1
2. 専攻及び募集人員	1
3. 出願資格	1
4. 出願資格審査について	1
5. 出願手続	2
6. 入学者選抜方法	3
7. 試験等の期日及び場所	3
8. 合格者発表	3
9. 入学手続	4
10. 注意事項	4
II. 農学研究科教員名及び専門分野一覧表	5
III. 長期履修学生制度について	8

平成30年度

I. 香川大学大学院農学研究科（修士課程）学生募集要項

[特別選抜（自己推薦方式）]

1. 特別選抜（自己推薦方式）の趣旨

この特別選抜制度は、本学の大学院修士課程へ入学し、志望専門分野の教員と協力して研究を進展させることを強く希望している優秀な学生に対して、筆記試験を免除して入学者選抜を行なう制度である。

2. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員
生物資源生産学専攻	12人
生物資源利用学専攻	12人
希少糖科学専攻	5人
合計	29人

3. 出願資格

下記の(1)～(6)に該当する在学中の者は、平成29年3月31日時点で卒業要件単位のうち100単位以上取得しており、かつ優以上が60単位以上であること（学校教育法第89条（いわゆる早期卒業）の規定によるものはこの条件を満たさなくても出願資格がある。）。編入学生については、3年次に取得した単位の6割以上が優以上であること。既卒者は、修得単位のうち6割以上が優以上であること。また、いずれにおいても、合格した場合は、入学を確約できること。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者及び平成30年3月までに指定した者に該当する見込みの者
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定（いわゆる飛び入学）により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者させる本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (9) 大学卒業資格を有していない者であっても、本大学院における個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があり、受験資格があると本大学院が認めた者で、22歳に達したものと及び平成30年3月31日までに22歳に達するもの

4. 出願資格審査について

出願資格の(8)・(9)により出願しようとする者は、出願に先立って出願資格審査を行いますので、あらかじめお問い合わせください。

出願資格審査の概要は次のとおりです。

(1) 提出書類等

出願資格(8)(9)共通	
出願資格審査申請書	本学所定の用紙により、作成してください。
出願資格(8)により出願する場合	
成績証明書	出身大学院(研究科)の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを出してください。
在学証明書又は修了証明書	出身大学院(研究科)の長が作成したものを提出してください。
出願資格(9)により出願する場合	
成績証明書	出身学校の長が作成し、厳封されたものを提出してください。在学中の者は、最新のものを出してください。
卒業・修了(見込)証明書	出身学校の長が作成したものを提出してください。
修学等状況報告書	学習、研究あるいは実務の状況について、記述してください(A4用紙1枚以内、35文字×30行 1,000字程度)。

※上記以外の書類を請求する場合があります。

(2) 申請書類等の提出期限

平成29年5月19日(金)17時まで(必着)

- ・窓口受付時間は、9時から17時までとします。
- ・郵送の場合は、期限内に**必着**するようにしてください。
なお、期限を過ぎて到着したものは受理しません。

(3) 出願資格審査の方法

提出書類により行います。なお、本大学院が必要と認めた場合は、面接を行います。

(4) 出願資格審査書類の提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願資格審査書類を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。)

5. 出願手続

- (1) 受験希望者は、出願前に志望教員(受験者が入学後に指導教員として志望する教員)と進学後の研究内容などについて相談してください。なお、ご不明な点がございましたら、学務係(下記参照)へ電話でお問い合わせください。

(2) 出願期間

平成29年6月12日(月)から平成29年6月22日(木)まで

受付時間は、9時から17時までです。(土、日、祝日を除く)

郵送の場合は、6月22日(木)17時必着とします。6月22日(木)17時以降に着いた場合は、6月20日(火)までの消印があり、かつ、「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。

(3) 出願書類等提出先及び問い合わせ先

香川大学農学部学務係

〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393

電話 (087) 891-3015(直通)

(出願書類等を郵送する場合は必ず簡易書留速達とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。)

(4) 出願書類等

入 学 願 書	本学所定の用紙により、作成してください。
成 績 証 明 書	出身学校（学部）の長が作成し、厳封されたものを提出してください。なお、出身が本学農学部の場合は提出不要です。また、4の出願資格審査で提出済の場合も提出不要です。
卒業（見込）証明書	出身学校（学部）の長が作成したものを提出してください。なお、出身が本学農学部の場合は提出不要です。また、4の出願資格審査で提出済の場合も提出不要です。
志 望 理 由 書	A4用紙2枚以内（横書き、1ページあたり35文字×30行程度）で志望動機及び入学後の研究計画などを記述してください。
検 定 料*	30,000円。入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、平成29年6月5日（月）～平成29年6月22日（木）の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。（注）通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので注意してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	写真票には、出願前6か月以内に撮影した正面上半身、無帽の写真（4cm×3cm）を、所定の箇所に貼付してください。
受験票等送付用封筒	本学所定の封筒に自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、372円分の郵便切手を貼付してください。
そ の 他	外国人の志願者は、上記の出願書類のほか、在留資格を証明するもの（旅券の写しなど）を添付してください。

【注】① 在職中の者は、入学及び修学に支障を来さないよう、勤務先において手続を取っておいてください。なお、入学手続時には、所属長等の入学承諾書（様式自由）を提出してください。

② 出願資格（2）該当者は、卒業証明書に代えて次の書類のうち1つを提出してください。

1) 学位記の写し又は学位授与証明書（大学評価・学位授与機構が作成したもの）

2) 修了見込証明書（専攻科）（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）

3) 学士号授与の申請を受理した旨の証明書（大学評価・学位授与機構が作成したもの）又は学士号授与の申請をした旨の証明書（在籍する短期大学長又は高等専門学校長が作成したもの）

*成績が出願条件を満たしていなかった場合は、願書を受理せず、検定料は返還します。

6. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口頭試問、志望理由書、成績証明書等の書類を総合して行います。

口頭試問は志望する専攻において行います。口頭試問では、志望理由書、成績証明書等を参考にしながら、志望する動機と修学に必要な基礎的及び専門的知識、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学・研究に対する意欲などを評価します。

7. 試験等の期日及び場所

月 日(曜)	区 分	時 間	場 所
7月6日(木)	受 付	12時30分～13時	香川大学農学部学務係 (詳細は、受験票送付時に通知します)
	試 験	13時15分～	

受験者が多い場合は、7月7日（金）にも実施する場合があります。

8. 合格者発表

(1) 平成29年7月14日（金）午前9時（予定）農学部内で発表するとともに、合格者には合格通知書を送付します。電話による照会には応じません。

また、本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します（同日午前10時予定）。

香川大学ホームページ：<http://www.kagawa-u.ac.jp>

【注】：ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、

公式の合格者発表は農学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

(2) 合格者は、平成29年7月28日（金）までに必ず「入学確約書（所定）」を提出してください。

Ⅱ. 農学研究科教員名及び専門分野一覧表

専攻	氏名	専門分野名	おもな研究内容
生物資源生産学専攻	東江 栄	資源植物機能学	①資源植物の生理機能の解明および農業的利用に関する研究 ②植物の環境ストレス応答（耐性）機構の解明に関する研究
	一見 和彦	浅海生産環境学	沿岸域における一次生産者を主とした生物生産環境とそれに関わる物質循環過程について
	伊藤 文紀	昆虫生態学	社会性昆虫の行動と生態（特にアジア熱帯におけるアリ類の多様性，侵略アリの生態に関する研究）
	奥田 延幸	蔬菜園芸学	蔬菜の発育制御並びに優良系統の育成・増殖
	片岡 郁雄	果樹園芸学	環境や植物成長調節物質による果樹の発育調節，果樹資源の探索，評価と品種改良
	高村武二郎	園芸資源開発学	園芸植物遺伝資源の評価と育種への利用ならびに園芸植物の花色発現の遺伝的・環境的制御
	多田 邦尚	生物・化学海洋学	沿岸海域の低次生物生産過程における生元素の挙動
	豊田 正範	作物生態生理学	作物の収量形成に関する生態生理学的・発育形態学的研究
	深井 誠一	花き園芸学	花き園芸植物を対象にした開花生理，遺伝子組換え，遠縁交雑，品質保持に関する研究
	別府 賢治	果樹発育生理学	果樹の結実性に関する形態学および生理学的研究
	望岡 亮介	果樹栽培学	未活用果樹野生資源の分布調査，評価，園芸学的利用，新品種の開発
	柳 智博	施設園芸学	施設生産が盛んなイチゴを材料に，生産性や品質を向上させる栽培技術の開発，野生種を利用した育種について研究を行っている
	山田 佳裕	生物地球化学	①水域における生元素循環に関する研究 ②水域生態系の評価法の開発
	亀山 宏	農村マネジメント	参加型コミュニティ開発のための人材育成プログラムの研究
	小杉 祐介	園芸利用生理工学	切り花・野菜の鮮度・品質に関わる生理特性およびその関連遺伝子の解析
	小林 剛	植物生態学	①陸生高等植物の生活史と生理生態 ②植物集団の構造と動態 ③生態系における生物間相互作用，生物多様性および物質循環
	鳴海 貴子	花き園芸資源科学	花き園芸植物の花の咲く仕組み，花形態制御機構の解明，新形質花き作出技術の開発に関する研究
	松村 伸二	気象災害学	気象災害の発現機構の解明と対策
	松本 由樹	家畜生体機構学	①腸管栄養吸収を制御する神経制御機構の解明と動物資源生産への応用 ②動物資源生産に有効な機能性飼料開発と飼育環境評価法の確立
	武藤 幸雄	農業経済学	農業保護政策の形成過程と環境保全型農業技術の普及過程に関する経済学的研究
諸隈 正裕	作物栽培学	水稻の多収性に関する栽培学的研究	
安井 行雄	進化生態学	動物（主に昆虫）の社会行動や環境に対する適応について，ダーウィンの自然淘汰・性淘汰理論に基づいて研究している	
山口 一岩	沿岸物質循環学	沿岸域における生物を介在する物質循環，エネルギー流の解析	

専攻	氏名	専門分野名	おもな研究内容
生 物 資 源 利 用 学 専 攻	秋光 和也	分子植物病理学	植物・病原菌間の相互反応に関する遺伝子の解明とその制御
	小川 雅廣	食品タンパク質化学	食肉, 食卵, 魚介類, 乳などの動植物性食品に含まれるタンパク質の機能改善に関する研究
	片山 健至	森林バイオマス化学	樹木等の高等植物の生物活性成分の探索, 有機化学及び生合成, 並びに木質バイオマスの化学的利用
	加藤 尚	植物生化学	植物のアレロパシーに関する生化学的・分子生物学的研究
	川浪 康弘	機能分子化学	生物活性物質の有機合成化学的研究
	川村 理	食品衛生学	マイコトキシンに対するモノクローナル抗体の作製と免疫化学的測定法の確立 マイコトキシンの食品汚染とヒト曝露量調査およびリスク評価に関する研究
	木村 義雄	微生物生理学	細菌における栄養, 温度, 浸透圧などの環境変化に対する適応機構の解明
	京 正晴	植物細胞制御学	植物細胞の個体発生の誘導方法とその制御機構に関する研究
	合谷 祥一	食品物理学	食品の物理的特性の解析及び食品に適した界面科学的乳化に関する基礎研究
	田淵 光昭	応用分子細胞生物学	酵母および動物培養細胞を用いた生命現象の動作原理の解明とその応用
	田村 啓敏	食品化学	食品の感覚特性(フレーバー特性)及び生理機能特性に関する化学的解析
	野村 美加	分子植物栄養学	植物微生物相互作用に関する生化学的, 分子生物学的解析
	深田 和宏	生物物理化学	生体関連両親媒性物質の物性と機能性に関するコロイド界面化学的研究
	藤田 政之	植物ストレス応答学	高等植物の環境ストレスに対する応答反応・耐性機構に関する生理・生化学並びに分子生物学
	松尾 達博	栄養学	食餌と運動が動物の生体内代謝に及ぼす影響およびそれらの相互作用の評価
	吉井 英文	食品工学	機能性食品粉末の創製, 食品粉末の緩和現象解析および糖質の新規晶析手法の開発に関する研究を行う
	市村 和也	植物ゲノム機能解析学	植物免疫を含めた環境ストレス情報伝達機構の解析, およびゲノム機能解析
	五味 剣二	植物防衛応答学	植物の病原微生物に対する防衛機構の遺伝子レベルでの解析
	末吉 紀行	分子細胞生物学	動物細胞における情報伝達, 特に, タンパク質リン酸化・脱リン酸化を介した細胞内情報伝達機構の解明
	杉田(小西)左江子	植物分子育種学	イネ科作物, 主にイネのゲノム情報を用いた有用遺伝子の遺伝解析, 遺伝子単離および機能解析
鈴木 利貞	バイオマス化学	樹木のリグナン・ネオリグナンの生合成・立体化学・化学合成; 外樹皮のスベリンの構造と生合成; 熱帯産樹木の生物活性成分の探索	
田中 直孝	細胞生物学	真核細胞を用いた糖タンパク質の機能解析及び糖鎖生合成機構の解析	
古本 敏夫	植物機能化学	植物成分の探索・利用・生成機構および植物機能に関する化学的研究	
柳田 亮	生物有機化学	生物活性を有する天然物の探索とその作用機構に関する有機化学的研究	

専攻	氏名	専門分野名	おもな研究内容
生物学資源 利用学専攻	渡邊 彰	微生物生化学	微生物、特にキノコ類が示す生命現象の解析（遺伝子・タンパク質レベルから個体レベルまで）とその応用面に関する研究
希 少 糖 科 学 専 攻	麻田 恭彦	微生物利用学	担子菌キノコが示す生命現象の生化学的・分子生物学的解析とその応用、並びに希少糖が菌類に及ぼす生理的影響の解析
	何森 健 ※	酵素利用学	酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し、その用途に関する研究を行う
	神鳥 成弘	構造生物化学	単糖、オリゴ糖、多糖を基質とする酵素、および糖鎖認識結合タンパク質の3次元構造と機能との関係について研究を行う
	櫻庭 春彦	酵素工学	微生物、特に極限環境に生育する微生物が生産する酵素の機能および構造解析とその応用面の研究
	佐藤 正資	生物活性化学	天然有機化合物の新たな生物活性探索とそれらの応用開発
	田島 茂行 ※	植物栄養生理学	高等植物の栄養生理における共生微生物の役割及び自然界に存在量の少ない希少糖の高等植物代謝に与える役割の分子生物学的研究
	徳田 雅明	細胞生理学	希少糖のもつ生理活性を機能性食品や医薬品に応用する研究を行う
	仲山 賢一	糖質機能生物学	糖鎖・糖脂質による細胞表層シグナルおよび免疫系の制御に関する研究を行う
	早川 茂 ※	食品機能設計学	食品タンパク質及び糖質が持っている食品安全性機能と食品加工機能を分子レベルで解析し、高い機能性を有する食品を考案する
	石田 豊 ※	植物資源利用学	野菜や果物など青果物の鮮度保持技術や加工技術に関する研究を行う
	木村 功 ※	食品微生物利用学	食品関連微生物の生産する酵素や代謝産物などの工業利用に関する研究を行う
	中島 芳浩	細胞生物学	糖脂質等の生理活性物質の細胞内シグナルネットワークにおよぼす影響について研究を行う
	安部 博子	糖質生物学	出芽酵母を利用して有用糖タンパク質を生産するための手法の確立および糖質の免疫制御機能についての研究を行う
	高田 悟郎	応用酵素化学	微生物の生産するセルロース分解酵素及び希少糖生産酵素に関する分子生物学的研究
	中北 慎一	糖鎖生物学	生体内における糖鎖の生物学的機能を、その化学構造側からの研究に焦点を当て、どのような意味を持つかについて研究を行う
森本 兼司	酵素利用学	酵素や微生物を用いた糖転換反応を利用して希少糖を生産し、その用途に関する研究を行う	
吉田 裕美	蛋白質工学	3次元構造情報に基づく分子設計および部位特異的変異法による、単糖、オリゴ糖、多糖を基質とする酵素の機能改変についての研究を行う	
吉原 明秀	酵素利用学	微生物の生産する希少糖生産酵素およびそれら酵素を用いた様々な希少糖の生産に関する研究を行う	

※は、募集しない教員名。

Ⅲ. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度の対象となるのは、職業を有している等の事情により、本研究科の標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する者です（ただし、外国人留学生は本制度に申請できません）。

この制度では、2年間で設定されている教育課程を4年間で上限として履修計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能です。長期履修学生として認められた場合の授業料は、履修期間にかかわらず原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払うことになります。

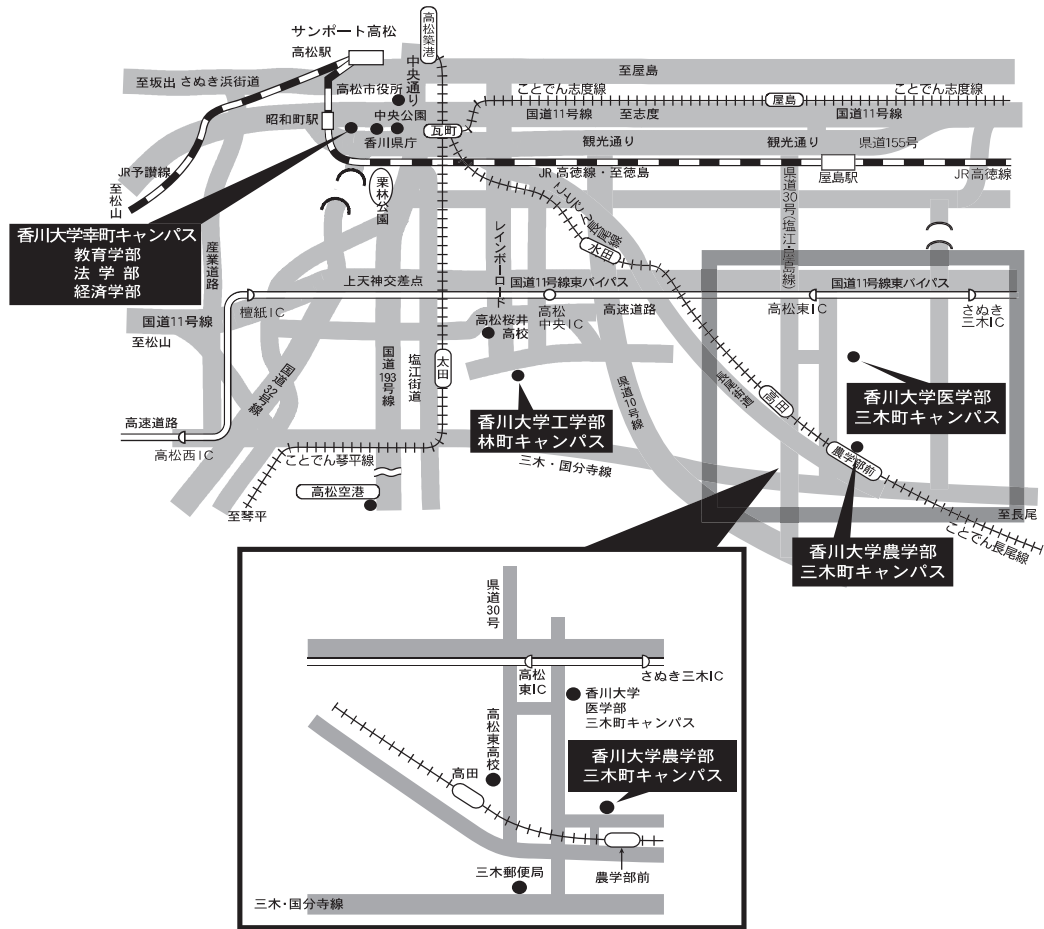
長期履修学生制度の適用を希望する者は、入学試験の出願時に希望の有無を記入して下さい。

また、合格者には、長期履修学生申請書等を入学手続き書類と一緒に送付します。申請書等の審査を経て、長期履修学生制度の適用が決定します。

問い合わせ先

香川大学農学部学務係 TEL (087) 891-3015

香川大学試験場案内図



農学部

電車	ことでん長尾線「高松築港駅」——(約30分)——>「農学部前駅」下車 徒歩2分(北へ100m)
バス	大川バス 引田線(高松駅前⑧番のりば) 「高松駅」——>「農学部前」下車 徒歩5分(北へ250m)
タクシー	JR高松駅——>香川大学農学部 約40分 約4,400円

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自が確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

入学試験等に関する照会先

香川大学入試グループ TEL (087) 832-1182
〒760-8521 高松市幸町1番1号

香川大学農学部学務係 TEL (087) 891-3015
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393番地

香川大学ホームページ <http://www.kagawa-u.ac.jp/>

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。